

春日町図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和3年11月7日(日) 14時～15時30分
- 2 場所 春日町図書館 2階会議室
- 3 参加者 利用者 9名
図書館 3名
(春日町図書館長、館長代理1名、書記1名)
- 4 テーマ 「コロナ禍における図書館サービス～春日町図書館に期待すること～」
- 5 配付資料 (1)教育要覧(図書館の所蔵資料数、利用状況)
(2)主な春日町図書館事業 令和2年度下半期～令和3年度上半期
(3)春日町通信(11月号)
(4)feel me(9月号)
(5)記念誌
(6)オリジナルボールペン
(7)コロナ連絡カード
(8)利用者懇談会アンケート
- 5 次第 (1)春日町図書館長挨拶
(2)図書館職員紹介
(3)図書館概要説明
(4)懇談
(5)春日町図書館長挨拶

春日町図書館利用者懇談会 会議録

1 春日町図書館長挨拶

私から、一言ご挨拶をさせていただきます。春日町図書館の館長を務めております。日頃より地域の皆様、利用者の皆様には春日町図書館の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度はお陰様で、開館25周年を迎えることができました。また、この度多くの方にご協力を頂き、記念誌も発刊することができました。重ねて御礼申し上げます。

今回この懇談会を通じ、更なる向上を目指し、これからの春日町図書館について、様々なご意見ご要望をいただきたいと考えております。ぜひ、和やかな雰囲気の中、色々なお話が伺えたらと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、今回の懇談会ですが、「コロナ禍における図書館サービス～春日町図書館に期待すること～」というテーマで進め、お時間を15時半までとさせていただきます。また、館独自で答えられないような区立図書館全体に関することについては、お答えできない場合があります。その際は、光が丘図書館にその内容を伝え、後日、光が丘図書館と調整の上ホームページで回答させていただく予定です。また、宜しければ11月20日(土)に行われま

す、光が丘図書館での懇談会にご参加ください。そちらで質問をしていただければ、適宜回答があると思います。それではどうぞよろしくお願いいたします。

2 図書館職員紹介

春日町図書館長、館長代理、書記

3 事業紹介等

(1) 教育要覧抜粋の図書館の所蔵資料数、利用状況の紹介

所蔵資料数、利用状況等

個人貸出点数 39万6949点、個人貸出予約点数 13万7966点

対面朗読の利用時間数 254時間 会議室の利用件数 250件

ギャラリー利用日数 19日

(2) 令和2年度から令和3年度の主な春日町図書館事業について

- ・夜間開館を活かした事業
- ・地域、関連施設との連携事業
- ・練馬区との連携事業
- ・各種講座、読書支援事業
- ・ボランティアとの連携事業
- ・その他子供向け青少年向け事業
- ・情報発信
- ・学校支援モデル事業

(3) 春日町図書館における新型コロナウイルス感染症対策について

4 懇談

図書館 テーマが「コロナ禍における図書館サービス～春日町図書館に期待すること～」となっております。日頃図書館を利用している中で感じることや、各施設での取り組みなど伺えればと思います。

利用者 当方の利用者である、お仕事の準備段階の若者が、図書館での職場体験やボランティアを通して仕事や自分自身の興味、能力を確認していく場所として、お付き合いをさせていただいています。また「居場所」というフリースペースが、練馬区の若者自立支援事業として、サポートステーションの隣の部屋に昨年度開設されました。その中で、本を使ったプログラムとして「絵本のカフェ」を企画しています。絵本をみんなで読んで、そのあとに交流をする。本の内容はもちろんですが、図書館の方々とお話して、図書館について知るとか人について知るとか、社会体験、社会参加のような経験を積ませていただいています。

図書館 私も館長を務めて5年目ですが、色々なところで関わりができて、開館25周年記念誌を作るにあたり、多くの方にコメントをいただける関係性が築けたことをす

ごく嬉しく思っています。「絵本のカフェ」ですが、ひと月に1回お伺いしています。毎回、読み聞かせの後の参加者同士の交流が深く、それぞれの想いが返ってくるというか、お互いに何を考えているか、どう感じたかなど絵本を通じてたくさん話せるのだなど。引き続き参加させていただきたいと思っています。

利用者 先週の日曜日に青年自主企画として、若者を対象にした講座を実施しました。その中でも、図書館の皆さんに読み聞かせをしていただきました。また、心身障害学級の作品展を今年初めて、ギャラリーで展示しました。その場にノートを置いて、通りがかりの方にも感想を書いていただいたところ、見てとても励まされたとか、色々こちらが嬉しくなるような感想をいただいて。それを学級生達にも伝えたと、ああよかったねということで、今年も2月にまたやらせていただくことになりました。更にお互いに連携できることがありましたら、させていただきたいなど思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

図書館 青少年館はすぐ近くということもあり、今まで以上に何かできるのではないかと考えています。よろしく願いします。

利用者 12月に、出前講座ということで、廃材を使った工作教室を春日町図書館でさせていただくことになっております。ギャラリーもあるとお聞きしたので、環境に関する啓発展示も可能であればやってみたいと思っております。あと、地域祭りみたいなところで図書をお借りして、区民に提供することもあったとお伺いしました。

図書館 リサイクルセンター祭りに伺って、除籍本を配布するという事業をやらせていただきました。職員が2人くらいでコンテナに本を積んで参加しましたが、それも毎年できたらいいなと思っています。昨年はコロナでお祭りが中止になったんですよね。

利用者 そうですね。来年の予定なども区役所と調整中ございまして、遅くて1月頃にはある程度の方向性は出ると伺っております。

図書館 前の担当の方と、第四地区祭の事前の会議でお会いした時、具体的な話にはならなかったんですけど、そういう楽しいイベントが今後できたらいいなと思っています。

利用者 講座とかも小さいお子様たちにすごく人気があって、7名、8名ぐらいに定員を絞って周知をするんですけど、60組とか下手したら150組とか応募が来るので、イベントが求められているんだなど実感しています。積極的にやっていきたいと思っています。

利用者 すごくたくさんの方の事業をしてらっしゃるんだなというのが正直なところで、図書館はただ貸本をする場所だけじゃないなと改めて思いました。更に会議室の利用が、たぶん区内の図書館で一番多い。うちのセンターも一緒に介護保険講座や認知症に関する勉強会を年に数回やっていますが、やはり居場所として機能できる図書館、会議室っていうのは有効に皆さんのために利用できればいいなと思って

おります。あと、図書館は利用できるかたにとっては本当に身近に、社会資源として利用できる場所なので、ぜひこれまでどおりの役割を果たしていただけたらたいへん有難いと思います。

図書館 包括支援センター様とも体操や介護保険講座など一緒にやらせていただきまして、講座の中でブックトークもしていただいた時もありました。

利用者 そう、図書館にも認知症に関する本って結構あるんですね。認知症になったらどうしようっていうマニュアルみたいな本から、認知症の方の小説みたいなものとか、紹介させていただいたことがありました。

利用者 今年も月明かりのコンサートありましたけれども、去年の時にはすごく厳重にコロナ対策をした演奏会だったんですね。今年は、状況の変化に応じた対策が変わっていました。イベントに参加すると、晴れ晴れしたような気分になります。引き続き対策をお願いしたいし、私たちもそれに則った利用をしていきたいなと思っています。

図書館 コロナになってから、閉館にしたり時短にしたり、色々変わって、利用者さんも本当に戸惑うことも多かったと思います。ただ、だんだん対策方法がわかってきたこともあり、イベントについては、感染症対策を行なった上で実施するという方針のもと、事業計画をそれほど中止にせずにやってきたことで、参加された方に楽しんでいただけてよかったと思っています。

利用者 休館以降は貸出しだけとか書架に入れなとかありましたけど、その中で会議室の利用はできたのはすごい助かりました。春日町図書館は駅が近いということもあって委託講座とか企画することがあるんですけども、やっぱりコロナになってリアルとzoomの両方をついていう要望が多い。この間貫井図書館でzoomをやったんですけど、ここはできるのかどうか。そういう面で練馬区の図書館まだちょっと遅れているところがあります。あとおはなし会は会場を会議室に変えて、常連さんも増えて、いい感じでできています。これも中止にしないっていう練馬区の方針がよかったです。それから、周りでコロナになって本を読む機会がすごく増えたんだけど、どんどん読んで、もう次に何の本読んでいいかわからないので紹介してほしいっていう声結構聞こえてきています。それでこの「大人のためのブックトーク」っていうのは参加者が何人ぐらいだったのか、定期的に開催する予定はあるのかというもお聞きしたいです。そしたら春日町図書館でそういうのがあるよと紹介できるかなと思います。あと、家に閉じこもることが多くなって、近所を散歩することが増えた。さっき「ウイキペディアタウン in 春日町」っていう事業をご紹介いただきましたが、これ紙ベースとかは無いですか。

図書館 これは図書館の所蔵資料を使って調べ、近隣を街歩きして写真を撮ったりお話を聞いたりして集めたデータを、ウイキペディアに掲載をしています。

利用者 図書館で、そういう地域の散歩地図を手に入れられれば嬉しいです。

- 図書館** Zoomでの会議って貫井図書館ではどんな感じだったんですか。設備が整っていたという事でしょうか。
- 利用者** パソコンと、接続する機械を当日貸していただいたんですけど。私も詳しくわからないんですがそれで一応、Zoomとリアルで開催できました。
- 図書館** 図書館で用意したってことなんですね。
- 利用者** 図書館にありますから大丈夫ですよって言われました。貫井と春日町が駅に近くて講座が開きやすいので、ぜひそういうところ整えていただけたらと思います。
- 図書館** なるほど。やはりリアルで集まれないっていうのは課題です。それに設備が追いついてなくて、光が丘図書館のほうに相談してみたいと思っています。
- 利用者** その機械じゃなくても、パソコンを持ち込んで、それでできればいいんですけど。
- 図書館** ネットワーク環境の整備ということですかね。ご相談いただければご用意ができないわけじゃないと思います。利用者アンケートでもZoomやオンラインについての項目が増えているので、ご要望が多ければ動いてゆくという感じなのかなと思います。それから、「大人のためのブックトーク」ですが、二部制で開催しました。第一部は『ガールクラッシュ～女性の惚れる女性～』、第二部は『大人におすすめの子どもの本』というちょっと大人っぽいテーマでやりました。参加人数は、20名いっぱい予約が来たんですけど、当日のキャンセルがあって16名くらいでした。あとブックリストも作りました。プログラムで紹介した本と紹介しきれなかったおすすめ本を載せて、ホームページの事業報告でもブックリストをネット上で作って載せました。
- 利用者** 読書会はやってますか。
- 図書館** 読書会はやっていませんが、ビブリオバトル部は年に数回実施しています。今、部員が15人ぐらいなんですけど、参加者が増えるように周知に力を入れていきたいと思っています。
- 利用者** これは大人なんですか。
- 図書館** 中学生以上なら参加できます。確かに子ども向けのブックリストは定期的に発行していますが、大人向けとなるとイベントで紹介した本や、プログラムとかになっちゃいますね。
- 利用者** その方は大人向けの紹介をもっとして欲しいと言っていました。
- 図書館** コロナ前と比べると、来館者数は減ってはいますが、予約は増えていて、やはり自粛期間中に読みたいっていう方がたくさんいるんじゃないかなとは思っています。地域の地図ですが、そのウイキペディアタウンをやった時にギャラリーで報告展示をしたんですけど、問い合わせが結構あって、こういう街歩きがしたいとご意見もいただきました。この前ケアセンター会議で地図を作りましたよね。
- 利用者** そうですね。お散歩する先を皆で挙げようみたいな事があって、ここの公園は桜

が綺麗だとかここはツワブキが咲いているとか、ちょっとした情報を簡単な地図にしました。それは完全に机上だけの会議で歩いたりとかはしなかったんですが。

図書館 地域を回ってそれを地図にして配布するとか、できたらいいと思います。

利用者 書棚で本の中身を見たいけど、触ったらカゴに返さなくちゃいけないって思うと手が引っ込んで、家に帰ってパソコンで色々調べて、予約してしまうんです。だから予約が増えたと聞いた時に、皆そういう心理が強くなっているんじゃないかなって思いました。除菌機ってどのぐらいの時間で終わるものなんですか。

図書館 1回30秒です。本が開いた状態で6冊置けます。

利用者 でも自分が触った本を除菌機使ったからって棚に戻せるわけじゃないですもんね。借りたい本を自宅に持って帰るために使うっていう目的で。

図書館 そうですね。

利用者 やっぱ基本的に手に触れた本はカゴに入れるっていうのを続けるしかないんですよ。

図書館 それは一応お願いしています。

利用者 でも練馬区の図書館でも入口で消毒して入るからやらなくていいっていうところがあるんですけど。

図書館 カゴもないのでしょうか。

利用者 ないです。そのまま棚に戻します。

図書館 それについては、去年もお伺いした気がします。

利用者 コロナがひどい時はカウンターに持っていくシステムだったらいいんですけど、今はもうそのまま。これ面白そうかなと思っても、やっぱりカゴに入れるとか躊躇するんですよ。その図書館は一応消毒をして入ってもらうのでいいということになっていました。だからこれが全館に広がるといいなと思って。

図書館 わかりました。違いがあったと。カゴに入れるとかブックトラックに置くとか、一応練馬区全体ではそうしているってことにはなっています。面倒っていう気持ちとか、躊躇しちゃうということでしょうか。

利用者 面倒っていうよりも、ちょっと見たいけど触ってしまってあんまりだったらカゴに置く。そうするとまた、これが書棚に戻ってくるまでに時間かかる。山ほど自分で積み上げてきょうならっていうのは何となく気が引けるし。だからあのシステムは早く解除になるといいなって個人的にはすごく思っています。

利用者 触った本を一定時間置かないといけないとかコロナの最初の頃よく言われましたけど、実際に効果があるとかどのぐらいわかっているのかな。

利用者 除菌機も最初に導入された時にコロナウイルスにはあんまり効き目はないって聞いていたけど全館に配置されましたね。ただ、やっぱり安心なのかな。科学的な根拠というよりも、書架の本は安心して手に取れるな、除菌機もやって持つて帰るのはなんとなく安心だっていうのが大きいのかなって。でも、一応熱も測って手

も消毒して入っているし、ちょっと見たいっていうのがなかなかできないのは、不便に感じています。

図書館 そういったご意見も光が丘図書館のほうに報告させていただきます。

利用者 地域の経済も環境も知識も教養も高めていく役割を、社会教育の担い手である図書館がどれだけ中心になってやれるか。なのに、図書館に関わる費用が他の先進国に比べてうんと桁違いに低い。とくに東京はそれが著しい。また、学校図書館のサービスの実態をもうちょっと知らしてもらいたい。学校図書館のサービスが行き届くほど将来の公共図書館の担い手が増えてくわけですね。今はそれが逆。ただ本があるってだけの図書室だったことしか普通の人達は記憶ないわけです。そうすると図書館に行けば本が読める以上のサービスがあり得るってことがわからない。専任の司書教諭がないから図書館で本を読んでそこから将来に向かって何を学ぶかというところへ繋げていく指導、支援がほとんど無いに等しいわけでしょ。それをもっとしっかりやっていけば大きな柱になっていきます。視覚障害者への支援や文化財の集積も、図書館が中心になってやるべきなんです。それがソーシャルイノベーションを作ることに繋がっていくわけです。そういう図書館の役割がうんと低いんだってことを前提にして、しっかり目標を持っていただきたい。以上です。

図書館 社会教育の柱としての立場から独自のソーシャルイノベーションを推進するという点について、まずは地域と繋がることを前提に事業を展開していくことかなと思っています。今回ご参加いただいた関係各所の方々と協力して様々な事業ができますし、あとはまだ構想段階ですが、昨年と今年度を実施したプログラミング体験がすごく好評だったのでそれを発展させて、その先のビジネス支援や、就職へのスキル向上に繋げていければ。学校図書館なんですけど、指定管理からの支援員派遣は今年度いっぱいですが、担当校は変わらないので、先生たちと連携を取りながら子どもの読書支援活動を充分支援していきたいと思っています。指定管理館なので、できることも限られてきますけど、引き続き地域の皆様と協力して春日町図書館を更に発展させて盛り上げていけたらなと考えております。

利用者 ここは書庫が地下にもあるんですか。

図書館 春日町図書館に書庫はないです。

利用者 やっぱ狭い、小さいですね。

図書館 来館者は多いですが、蔵書数からいくと小規模館です。

利用者 普通の欧米の図書館では静かに本を読む部分と、あるテーマで喋りあう部屋があります。ある本を、あるテーマを中心にして議論しあう。そういう場が日本の図書館にはほとんど無い。最近はメイカースペースと称してそういうスペースを用意しています。今の区長はどうしても福祉優先なんですよね。教育というもうひとつの社会教育にも大きな目を向けてもらいたいと思っています。できるだけそうい

うことに、あと残り少ない時間を使っていきたい。

図書館 ありがとうございました。お時間がもう過ぎておりますので、ほかにご意見等なければこれで閉会とさせていただきますと思います。

5 春日町図書館長挨拶

本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。利用者アンケート並びに、本日頂いたご意見を踏まえ、春日町図書館の運営、サービス向上に努めていきたいと思っておりますので今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。